

「平成 21 年度温泉排水処理技術開発普及等調査」対象技術応募票

※応募票は、実証試験 1 ケース毎に作成すること。1 ケースの実証試験とは、1 つの技術を用いて 1 つの現場で実証試験を行うことをいう。

例 1：1 技術を 2 箇所の現場に適用する場合 → 2 ケースの実証試験

例 2：3 技術を 1 箇所の現場に適用する場合 → 3 ケースの実証試験

技術の名称：○○による温泉排水処理技術

想定する実証試験現場（○をつけて下さい）： A 旅館 B 旅館 C 旅館

応募者の状況	<機関名（共同機関名）>
	<担当者名（所属、役職）>
	<連絡先> 住所 TEL FAX
技術の概要	<原理・技術フロー>
	<開発状況・実績>
	<ライセンス関係等>

技術 の 特 徴	<有効性（ほう素、ふっ素の除去効果）>
	<経済性（実際に処理施設を導入・運用した際のイニシャル及びランニングコスト、消費エネルギー等）>
	<周辺への環境影響・安全性（添加剤・廃棄物の有無、騒音等）>
	<制約条件・課題等>
	<想定する1ケースの実証試験規模等（請負契約額5,000千円の場合を想定すること）>
備考	

※ この応募票は審査に必要な資料となります。必要に応じて枠を引き延ばすことや別紙を添付することは差し支えありません。